

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

人文学・社会科学における方法論の検討および新たな創出の試み

研究テーマ名

分野間比較を通じた質的研究アプローチの再検討

責任機関

国立大学法人一橋大学

研究実施期間

令和2年10月～令和5年3月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	井頭 昌彦	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	堂免隆浩	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	白瀬由美香	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	鈴木直文	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	安川一	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	稲葉哲郎	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	町村敬志	一橋大学大学院社会学研究科・特任教授
分担者	山田哲也	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	森村敏己	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	大杉高司	一橋大学大学院社会学研究科・教授
分担者	久保明教	一橋大学大学院社会学研究科・准教授

配分（予定）額

（単位：円）

令和2年度	令和3年度	令和4年度
2,925,000円	5,850,000円	5,850,000円

※令和3年度・令和4年度については予定額

研究目的の概要

人文学・社会科学の方法論的論争では、質的アプローチに基づく研究の信憑性と説得性確立メカニズムが一つの争点となってきた。しかし、「質的アプローチ」の内実は分野間で異なるため、主に国際政治・国際関係の分野で蓄積されてきた論点整理が適用できない場合も多い。この点を踏まえ本研究課題では、質的研究手法の詳細を分野ごとに明らかにしつつ、総合的な理解を目指し、量的／質的の連携だけでなく、質的研究同士のものも含めた異分野協働の土台づくりを行う。

研究計画の概要

2020 年度は国際政治・国際関係分野における質的研究アプローチ論争のサーベイを行い、2021 年度は分野ごとの質的研究の運用実態と批判への応答について解説および検討を行う。2022 年度は上記成果に科学哲学的観点を組み込み、質的研究論争に対する総括を行う。